

秋尊花祭御和讃

まごころに生きる

作詞・作曲 南こうせつ

(一) 三千年昔ルンビニの花の御園に生まれましし
玉の王子は人の世の 救いの御親となりたもう

(一) そよ吹く風に小鳥鳴き 川の流れもささやくよ
季節の花はうつりゆき 愛しい人はいまいずこ
ほほえみひとつ涙ひとつ 出逢いも別れも抱きしめて
生きてる今を愛してゆこう

(二) 天にも地にもひとりなる 尊き我に目覚めよと
教え給いし法の花 後の世までも香るなり

(二) 広がる海ははてしなく すべての命はぐくむよ
人の心もおおらかに 互いをうやまい信じ合おう
ほほえみひとつ涙ひとつ 出逢いも別れも抱きしめて
生きてる今を愛してゆこう

(三) 心の花も咲き匂う 卯月八日の花まつり
幼な姿の御仏を 浄めまつりて祝わなん

(三) 幼い頃にいだかれた ぬくもり今も忘れない
この世でうけた幸せを そっとあなたにささげましょう
ほほえみひとつ涙ひとつ 出逢いも別れも抱きしめて
生きてる今を愛してゆこう



四月八日 於 曹洞宗青木山本覺寺

花まつり しおり

四月八日の花まつりは、お釈迦さまの誕生日をお祝いする仏教行事です。



第一部 花まつり法要式次第

14:00~

- 一、法要説明
- 一、御詠歌 「釈尊花祭御和讃」
- 一、導師入堂
- 一、拈香法語
- 一、普同三拝
手を合わせ三度の礼拝
- 一、浴仏偈唱和
ご一緒にお唱えしましょう
- 一、修証義読経
- 一、御詠歌 「まごころに生きる」
- 一、回向
- 一、普同三拝
手を合わせ三度の礼拝
- 一、導師退堂

15:00~

第二部 花まつり本覺寺寄席

落語 春風亭朝也

落語 春風亭正朝師匠



「浴仏偈」 ご一緒にお唱えしましょう。

我今灌沐諸如来
 淨智莊嚴功德聚
 五濁衆生今離垢
 同證如来淨法心

【現代語訳】

私はお釈迦様に甘茶を灌ぎます
 そしてお釈迦様の正しいお智慧を頂き
 この世の苦しみ悩みを離れ明るい笑顔の人となります
 お釈迦様のような正しい行いの人となります